

ホットライン新年号

2024年1月号



公益社団法人 富山県建築士会

TEL 076-482-4446

FAX 076-482-4448

e-mail: info@toyama-kenchikushikai.or.jp



年頭のご挨拶

(公社) 富山県建築士会
会長 西野 晴仁

あけましておめでとうございます。2024年の新春を迎え、心よりお喜びを申し上げます。

私たちの住む富山を取り巻く社会経済環境は、新幹線の敦賀延伸に伴う人的交流の増加や産業移転、勃興する地域ベンチャーや新しい観光ブランドの創出、働き方改革、AI・DXの加速、脱炭素社会への対応など、新しい時代への転換期の真只中にあります。一方、人口減少・高齢化や、国際情勢の不安定化による建設資材の高騰、頻発・激甚化する自然災害への対応は待ったなしです。この困難な状況の中、私たちは持続可能かつ多様で豊かな暮らしと地域に根付いた文化を守り育てる「富山の建築士」として、活力あるウェルビーイング (well-being) な地域社会を実現するという大きな責務を果たさなければならないと考えます。

昨年度から進めてきた財政基盤の確立は、業務体制の改革による大幅な人件費削減と会費の改定という形で次の年度より実現されることとなりました。会員の方々のご理解とご協力に深く感謝を表すところです。これにより、次年度からは、財政収支の均衡と共に、当会の趣旨・目的に合った、より魅力的で持続可能な事業活動が展開できるものと確信しております。そして、基本となる各支部のまちづくり活動をはじめ各委員会の事業支援を強化し、会員の資質向上のための研修や会員の建築作品・活動などの情報発信を積極的に取り入れ、魅力的な建築士会を全面的にアピールし、会員増強にも繋げたいと思います。さらに活性化戦略として、①会員のための建築士会 (会員専用サービス・特典・優遇制度の充実等)、②会のプレゼンス(存在感)の向上 (ホームページの機能更新、広報・情報発信の拡大等)、③会員拡大 (学生会員 (特別準会員) の創設、親睦会の拡大等) をすすめていきたいと考えております。

さて、近年地震や自然災害が多発する中で、シェルターとしての建築物の安全性は人々の最も大きな関心事です。建築三会で結ぶ行政との防災協定は現在県と7市1町と締結しており、残る3市3町1村とも結べるよう努めていきます。同時に、連絡体制や実施訓練など実効性のある組織づくりも着実に進めていく必要があります。さらに、家具の転倒防止対策支援事業「かぐてんぼう隊」を県全体に広げ、建築士の防災での役割・活動を広く社会にアピールしていきたいと思ひます。

また、歴史まちづくり部会のヘリテージマネージャーが中心となって県や所在地の市との連携で進めている文化財的に重要な建築物の保存利活用は、地域のまちづくりにも直結し、専門家である会員の地域貢献にも繋がり地域の方々との信頼関係を築く第一歩となります。身近にある建物で重要と思われるものがあつたら、積極的に保存利活用を提案して頂きたいと思ひます。

私たち建築士は資格者として、様々な社会活動や業務を通じ建築やまちづくりの担い手として芸術・文化や環境の形成に広く大きな役割を担っています。誇り高い建築士として、魅力ある建築士会を日指し共に活動して参りたいと思ひます。

結びに、本年が会員の皆さまにとりまして素晴らしい年となりますようにご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

◆ 事務局

「令和5年度既存住宅状況調査技術者講習」(オンライン講習)の日程について

令和2(2020)年度に受講された方は今年度が更新年度となります。他団体で資格取得された方も、建築士会の講習で更新が可能です。今年度の対面講習は終了しましたので受講をご希望の方はオンライン講習にお申し込みください。

区分	回	学習期間(オンライン)	申込締切
更新	2月前期	2月1日(木) 00:00~ 2月15日(木) 23:59	1/18(木)
	2月後期	2月16日(金) 00:00~ 2月29日(木) 23:59	2/2(金)
	3月前期	3月1日(金) 00:00~ 3月15日(金) 23:59	2/16(金)
新規	2月	2月1日(木) 00:00~ 2月15日(木) 23:59	1/18(木)
	3月	3月1日(金) 00:00~ 3月15日(金) 23:59	2/16(金)

受講料:更新17,000円 新規21,450円

申込先:日本建築士会連合会ホームページからWEB申込

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

「令和5年度建築士定期講習」の日程について

令和2(2020)年度に受講された方は今年度が受講年度です。申込用紙の窓口配布はありませんので、ご入用の方は建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードしてください。3年前に普及センターの建築士定期講習を受講された方には、年度初めに普及センターから申込用紙が郵送配布されています。

会場コード	日程	会場	講義	定員
3B-06	令和6年 3月21日(木)	サンシップとやま	DVD	84

時間:9:20~17:30

受講料:12,980円(消費税・テキスト含む)

申込先:建築士会事務局 平日9:00~17:00

問合せ先:建築士会事務局 担当:佐藤

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

建築関係技術者のための「監理技術者講習」(DVD講習)のスケジュール

回	開催日
⑥	令和6年3月22日(金)

会場:富山県建築設計会館3階

時間:受付9:00開始 講習+試験9:30~17:25

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

◆ 研修委員会

専攻建築士新規登録及び更新申請について

専攻建築士制度は、消費者保護の視点に立ち、高度化かつ多様化する社会ニーズに応えるため、専門分化した建築士の専攻領域及び専門分野を表示することで、建築士の責任の明確化を図る目的の自主的な制度です。8つの専攻領域があり、得意分野を専攻領域として明示することができます。消費者の方は本会HPから専攻建築士を検索することができます。

受付期間:令和6年1月4日(木)~2月29日(木)

申請条件:新規登録の方 CPD単位12単位以上(直近1年間)

登録更新の方 CPD単位60単位以上(過去5年間)

※専攻建築士の有効期限は5年間です。

(今年度更新対象の方には別途ご案内申し上げます。)

申請方法:新規申請は書類申請のみ。申請書類は日本建築士会連合会HPからダウンロードできます。更新申請は書類申請に加えWEB申請も可能となり、申請料も格安となっています。なお、専攻建築士の登録期限が切れている方も更新が可能です。

申請手数料:17,600円(新規)

13,200円(窓口での更新) 9,900円(WEBでの更新)

日本建築士会連合会誌「建築士」CPD連載講座の挙掲載(2022年12月~2023年8月までの分。設問に回答することによりCPD単位を取得できます。詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。)

◆ 富山県木造住宅生産体制強化推進協議会

次世代住宅のための実務研修会のご案内

主に中小工務店の設計・工事関係者を対象に、次世代住宅の基礎的な知識と設計・施工に係る実務を習得する標記講習会を開催します。

開催日・開催場所:①2月21日(水) サンシップとやま

②3月1日(金) 高岡文化ホール

開催時間:13:00~16:50

詳細は本会ホームページ(1月中旬公開予定)または来月号同封のチラシをご覧ください。

◆ 砺波支部

となみ野建築探訪②「旧金岡家住宅(かいによ苑)見学会」とにかくいっぺん見てみられま!

日時:令和6年1月28日(日)14:00~16:00

視察先:砺波市豊町1丁目2-10(☎0763-33-6934)

内容:砺波駅近くにある旧金岡家住宅は、明治初期に建てられた砺波平野散村地帯の典型的な大型農家であり、平入茅葺屋根と屋敷林(かいによ)を今に伝える市指定文化財です。市は生涯学習施設かいによ苑として一般開放してきましたが、日頃の経費増大に加えて屋根の葺き替えに多額の費用が掛かるため、あり方検討委員会を設置し存廃を含めた検討が始まりました。当支部でもこの施設がどうあるべきか議論となり、話し合いを重ねたうえで「建物の存続」をはじめとした提言書を砺波市へ提出しております。

今回、初心にかえり砺波の歴史と民家、そして旧金岡家住宅について自ら体感し学ぶことを目的として見学会を開催致します。建築関係者でも中に入ったことのない人も多くは、とにかくいっぺん見てみて下さい。残すべき理由が見つかるはず。

<予定>

13:30 受付開始 自由見学

14:00 耳を傾けよう①「旧金岡家住宅の文化財的価値について」

砺波市教育委員会 野原大輔氏

14:30 耳を傾けよう②「かいによ苑にみる民家の特徴」

建築文化研究室一級建築士事務所 天野一男氏

15:00 くるま座で「砺波とかいによ苑の未来」をお話しよう

16:00 アンケートを記入のうえ解散

建築CPD:1単位の予定

定員:なし(どなたでも参加できます)

参加費:なし

申込先:申込期限:令和6年1月26日(金)までメール又はファックスで下記まで

(E-mail:aqua@trad.ocn.ne.jp FAX:0763-33-7707)

問合せ先:砺波支部 担当:水木功(TEL:090-4952-6560)

その他:都合により予定は変更になることがあります。ご了承下さい。

参考:旧金岡家住宅(砺波市教育委員会-砺波正倉)

<https://1073shoso.jp/www/culture/detail.jsp?id=4960>

砺波市へ『「かいにょ苑」の存続に関する提言』提出のご報告（砺波支部）

砺波支部では、砺波市豊町の市指定文化財「かいにょ苑」があり方検討委員会により存続も含め協議がなされているとの報道を受け、当支部としてかいにょ苑がどうあるべきか話し合い、令和5年12月4日 砺波市へ「かいにょ苑」の存続に関する提言を提出させて頂きました。それらは ①建物の存続 ②積極的・日常的に使い続ける「利活用」とすること ③市民の体験・学習空間を残すことを提言しており、砺波市からは後日「あり方検討委員会にて提示しご意見を伺う機会を設けることとする」との回答を頂いております（提言・回答を見たい方は水木まで mail: aqua@mizuki-architect.jp）。

かいにょ苑（旧金岡家住宅）は、砺波平野の家屋が「ヒロマ型」を基本として構成され、住まい方に応じて間取りが変化されてきたことを示す貴重な建物であり、さらに市内では茅葺屋根を持つ数少ない民家です。そして市街地に位置することも非常に大きな特徴であり、まちなかの公園ともいえる場所となっています。茅の葺き替え・運営方式など様々な問題点を抱えてはおりますが、良い形で残していけるよう働きかけて参ります。今後、当支部では「かいにょ苑」の積極的活用を通じ、良き提案が出来るよう努めて参ります。まずは、来年1月28日に見学会を開催致します(ホットライン参照)。興味のある方はぜひいらしてください。



女性委員会 令和5年度 勝興寺見学会 報告書

開催日：令和5年11月11日（土）13：30～15：30

開催場所：雲龍山勝興寺

講師：高岡市教育委員会文化財保護活用課 上村 文則 氏

参加人数：27名（会員19名、一般8名）

今年度の二つ目の企画は、少し肌寒い時期ですが、昨年国宝に指定された勝興寺の見学会を開催しました。予想以上の参加人数で、喜ばしく感じました。保存修理工事中に足を運ばれた方も参加されていた様で、工事中と完成後と比較できた事が高評価でした。上村氏の説明内容は、参加者の興味をそそるような部分を重点的に進められており、記憶に残る内容でした。



上村氏から説明をうけている様子



本堂の説明を、上村氏はタブレットを活用しながら、わかりやすく進めていく様子

建築に携わる関係で、皆さんが注目する部分は共通していて、上村氏への質問も飛び交う状態でした。「まちあるき」では、個々が自由に散策しながら「伏木北前船資料館」まで歩きました。通りに面した家々には「万葉集」？なののでしょうか、様々な短歌の書かれた木札が掛けてある事に気が付きました。歩いて散策すればするほど発見する物があり、奥深い場所でした。

参加者全員での
集合写真

まちあるきの様子

